

# 平成30年度アドバイザー派遣事業実施レポート

1 研究団体名 福米中学校区小中一貫教育推進協議会

2 研修テーマ

スクールソーシャルワークの視点を取り入れたアセスメントの行い方

学校不適應は、児童生徒の内面のみの課題から生じるのではなく、児童生徒と種々の環境との絡み合いによって生じることが多い。そこでアセスメントをおこなう際、内面の課題だけに焦点を当てるのではなく、児童生徒を取り巻く環境にも着目し、その調整・改善を図ろうとするスクールソーシャルワークの視点を学んでいくことが必要であると考えた。

3 アドバイザー

滋賀県長浜市立神照小学校 校長 伊部 加代先生

伊部先生は、滋賀県の小学校現場や滋賀県教育委員会で、様々な子どもたちや多彩な事案に出会われ、困難な課題に最前線で対処してこられた。現在は校長として、諸課題のある子どもたちに寄り添いながら学校経営に奔走されている。また滋賀県の小中学校の生徒指導担当教員のスーパーバイザーとして活躍されている。

アドバイザーには、そうしたご経験の中で培われたスクールソーシャルワークの視点や具体的なアセスメントシートの作り方・活用の仕方などをご指導いただきたいと考えた。

4 研修の概要

日 時	平成30年8月7日（火）	9：00～12：00
場 所	米子産業体育館（米子市東福原8-27-1）	
日 程	9：00～10：30	講義「児童生徒のアセスメントの行い方」
	10：30～11：30	ワークショップ
	11：30～12：00	質疑応答

## 5 研修の成果

最近、どこの学校でも児童生徒の問題行動や学校不適応が課題となっている。その際、児童生徒の見える部分だけで対処しようとしてもうまくいかず問題が大きくなることもある。今回の研修で、今考えないといけないのは課題を児童生徒個人の内面の問題としてのみとらえるのではなく、その子を取り巻く種々の環境などあらゆる角度



からアセスメントをして問題点を明らかにしていくこと、それにより考えられるアプローチの仕方等をチームで考えていくこと、が大切であると実感することが出来た。また、具体的な事例についてグループで話し合ったワークショップでは、伊部先生にも入っていただきスクールソーシャルワークの視点での児童生徒の問題の見極め方等示唆していただき大変参考になった。小中一貫教育で児童生徒を育てていこうとしている本中学校区において小・中の参加者が一緒になって具体的にアセスメントの行い方について理解することができたことは、大変に有意義であった。今後も引き続き研鑽を重ねたい。